

# またらの風

令和8年7月3日  
学校便り No.10  
校長 上田 一正



『 育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力 』  
～自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に～

## ～学校の環境整備について～

学校の生活環境は、用務員さんや中学校教頭の掲示物・展示物や小中学生の成果物を中心に整えています。7月7日は七夕です。馬渡小中学校の校舎昇降口に入ってすぐの場所に七夕飾りを設置しています。七夕飾りには星を模った黄色い短冊がぶら下がっています。馬渡小中学校や地域の方の願い事が書かれた短冊を確認してみました。自分自身の願いや身近な人へのメッセージもあるのですが、公益を願うメッセージも散見されます。これらの短冊を眺めながら、願い事さえ持っていない日々を送ってしまっていることを反省しました。



## ～馬渡小中学校の歴史の一端～

馬渡小中学校の創立は、明治8年であり、当時は小学校として創立されています。古い資料を見ていると、明治6年に教師1名と児童20名ほどで教場が開設された、と書かれているものもありました。右の写真は、現在の校舎玄関踊り場に掲示されているもので、「福田司先生撮影」と付記されています。いつのものが気になり、福田司先生が在職されていた年代について調べました。福田先生は、昭和41年4月から昭和44年3月までの勤務でしたので、その頃の校舎の様子だということがわかりました。

